

ぼくもわたしもお母さんも児童館へ行こう!!



親による子供の虐待、育児ノイローゼなどが新聞をにぎわわせています。
 落ち着きのない子供たち、学級崩壊も話題にならない日がありません。
 核家族化や転勤などで、相談相手も、頼る人もなく、夫は仕事に出かけ、小さな子供を抱え、一人子育てに悩み、孤独感を抱くお母さんたち。
 そして、女性が一生の間に産む子供の平均の数が一・三人台となり、そもそも子供の少なくなった社会で、兄弟姉妹もなく、周りには遊ぶ相手もいず、息の詰まりそうな生活をしている子供たちがいるのです。

オアシス

みんなの

一人のお母さんからのリクエストがきっかけでした。
 「小さな子供を抱えて転勤し、初めてのまちで勝手がわからず困っています。年度途中では、幼稚園や保育所も入るのが難しいと聞いています。広報るもいで児童館のことをご紹介いただければ……」
 それで今月号では「児童館」についてご紹介することにしました。
 現在、留萌市には6つの児童館・児童センターがあります。

留萌市児童館条例では「三歳以上十五歳未満」の子供たち(児童)を対象に、「健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすること」によって、児童の健全なる育成保護に寄与することを目的に児童館を設置することとなっています。
 でもこれではちょっと難しい。
 そこで「寿児童センター」におじゃまして、先生やお母さんたちに児童館のこと、子供のこと、お母さんのことを聞いてみました。